※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　数　学　　科

教科	数学	科目	数学B	単位数	2　単位	年次	2　年次
使用教科書	「高等学校 数学B」（数研出版）						
副教材等	クリアー　数学B （数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎回の授業の復習を大切にすることで、少しずつレベルアップしていきましょう。
まずはその授業で扱った問題を一人で解けるかどうか挑戦してみましょう。
履修にあたって、理数系列の者であること、数学Ⅰを履修し、数学Ⅱを履修中であることが必要です。

2　学習の到達目標

数列，統計的な推測について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようになるとともに，それらを活用する態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列、統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 数列、統計的な推測において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能技術を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列、統計的な推測における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数列、統計的な推測に関心をもつとともに、それらの事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	数列	数列と一般項 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 和の記号Σ 階差数列 いろいろな数列の和	a.数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能技術を身に付けている。数列における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 b.事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。 c.数列に関心をもつとともに、それらの事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	学習活動の取り組み 定期考査 小テスト	学習活動の取り組み 定期考査 小テスト	学習活動の取り組み 提出物等
2	数列・確率分布	漸化式 数学的帰納法 確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積 二項分布 正規分布	a.数列・確率分布において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能技術を身に付けている。数列・統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 b.離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に考察し表現したり、確率分布の性質に着目し、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察する力を身に付けている。 c.数列・確率分布に関心をもつとともに、それらの事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	学習活動の取り組み 定期考査 小テスト	学習活動の取り組み 定期考査 小テスト	学習活動の取り組み 提出物等
3	統計的な推測	母集団と標本 標本平均の分布 推定 仮設検定	a.統計的な推測において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能技術を身に付けている。統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 b.離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に考察し表現したり、標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察する力を身に付けている。 c. 統計的な推測に関心をもつとともに、それらの事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	学習活動の取り組み 定期考査 小テスト	学習活動の取り組み 定期考査 小テスト	学習活動の取り組み 提出物等

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度